

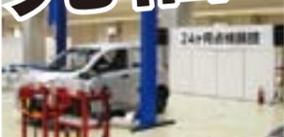


第3回 車検 甲子園

会場：東京ビッグサイト

日本から世界へ発信する大会へ!

全てはお客様のために



全国で510店舗、国内最大級の車検チェーン株式会社コバック・コバックオーナー協議会主催、第3回コバック車検甲子園全国大会が10月3日(木)東京ビッグサイトに開催されました。ナオイオートからも下館店福田祐樹、同店笠島将太&松山類ペアの3名の選手が出場、車検甲子園の先端でこれまで磨いてきた技術を力いっぱい発揮しました。

日本を代表する技術、理念を体現して 未来のかけ橋となるため今、集う

車検甲子園の競技種目は「車検受付予約競技」「現車プレゼンテーション競技」「24ヵ月点検」の全3種目。国内13ブロックから総勢52名の選手が出場しました。大会挨拶で、株式会社コバックホールディングス代表取締役社長小林憲司氏から、「ここに出場した時点で日本を代表する技術、理念を体現することであり、そのことに敬意を表します。この大会で未来のステージを塗り替え、未来の懸け橋になってほしい」と激励のメッセージを送られました。

「現車プレゼンテーション競技」では1次予選で13名から上位3名が選ばれ決勝へと進みます。車検を受けるお客様との対話の中で「お客様のニーズ」を正しく汲み取り、愛車の現状や今後について適切な提案ができるかといった重要なスキルを競う競技。決勝では想定外の質問が用意されていて、さらに緊張感のある空気に包まれます。そんなプレッシャーの中、明るい笑顔とメリハリのある対応で下館店勤務の福田裕樹選手は見事3位を獲得しました!

「24ヵ月点検競技」はコバックブランドを支える重要な競技です。車検CDとメカニックが2人1組となって点検を行います。作業の正確性や安全性、効率を競い、ペアということで、2人のコンビネーションもポイントとなります。笠嶋工場長&松山ペアも互いに声を掛け合いながら、一瞬も止まることなくスピード感のある実演が圧巻でした。

選手からのメッセージ

現車プレゼンテーション競技

悔しいですが やりきりました!



下館店 福田 祐樹 (入社7年)

3位という事で嬉しいのですが、今は悔しい一言ですね。大会に参加させてもらって優勝を勝ち取る事を目標にしましたが、その上がいたという事です。会社もマネージャーもサポートして、夜遅くまで付き合ってくれて、せっかく練習してきた事なので、これからは日々のお客様の接客で「どうやらお客様に満足していただけるか、」自分自身の今後の成長に繋がります。



24ヶ月点検競技

昨年よりは成長できたので、お客様から車検甲子園に出ているといわれて励みになりました。意識も変わりました。今回は項目も違うのでそれに合わせて、仕事が終わったと同じ環境で練習できるように、工場を移動して練習してもらったなど、鈴木マネージャーと渡邊さんには応援してもらい付きあってもらい、感謝しかありません。やりきりました。ありがとうございました。



下館店 松山 類 (入社4年)



下館店 笠嶋 将太 (入社9年・工場長)

応援ありがとうございました!



下館店マネージャー 鈴木賢一より
1年間を通して勝ち抜いてきたこと。リベンジを目指して強い思いでやっていた、普段の生活でも仕事が終わった後も協力してやってきました。昨年の24ヵ月点検は練習するだけで精一杯、今年はイレギュラーも想定してやれたこと等、本当に頑張ってきたとほめてあげたいです。

スーパーバイザー 渡邊大也より
3人もこの日のために1年間ずっと練習してきました。福田は社内でも高い成績を出しているの、現場の成果と大会の結果が同じように出れば良いなと思っています。お客様に膝をついて名刺を渡すのも普段からです。協力してやってくれたので、優勝を目指してという想いは同じです。

スーパーバイザー 杉田貴志より
福田さんはプレッシャーを味方につけることができるのでギャラリが成長につながります。組織は人なり、一人ひとりが大きく成長することで、会社も成長していきます。「車検地域No.1を実現する」ことを目指して今年の目標に挑戦していきましょう。

代表取締役社長 直井 清正より
車を通じて夢と感動の社会を提供できるように今回この大会に入賞できたことは社員の大きな成長につながります。組織は人なり、一人ひとりが大きく成長することで、会社も成長していきます。「車検地域No.1を実現する」ことを目指して今年の目標に挑戦していきましょう。

ここで得た経験をもとに これからもより一層の 技術の研鑽につとめてまいります